

# 第5次豊郷町総合計画

# 一生青春

みんなで安心 元気なまち



未来の豊郷町への思いを小中学生が描きました。





## 4. 循環型社会の形成

### ◆現状と課題◆

#### 【これまでに取り組んできたことは】

- ◇循環型社会の形成のため、ごみの減量化やリサイクルに対する住民への啓発に努めました。
- ◇不法投棄監視員の活動によるごみの不法投棄の防止に努めました。
- ◇地球温暖化防止対策の一環として、ハイブリッド\*公用車を増やし、二酸化炭素排出量の削減に努めました。
- ◇生ごみ堆肥化事業により、家庭から出る生ごみを減量し、堆肥化して大地に還す、循環型社会の構築を図ってきました。

#### 【住民ニーズは】

- ◇（中学生ワークショップ\*）本町の『嫌いなところ』を聞いたところ、「ごみが多い。」という意見がありました。

#### 【今後の課題は】

- ◇地球温暖化の防止へ向けて、環境にやさしい暮らしの実践を促進するとともに、住民・事業者・行政が一体となってごみの減量化・再利用・再資源化を進め、限りある資源を有効に利用する循環型社会の形成に取り組む必要があります。



## ●ごみ処理の状況

	平成 20 年度	平成 23 年度	平成 26 年度	平成 29 年度
10月1日人口（人）	7,308	7,430	7,362	7,374
可燃性ごみ（t）	1,077	1,138	1,148	1,363
不燃性ごみ（t）	222	227	223	136
あきビン（t）	51	47	43	40
空缶（スチール）kg	15,153	14,402	11,678	11,624
空缶（アルミ）kg	2,367	2,248	1,823	1,816
あきカン（t）	16	17	14	13
金属ごみ（t）	27	10	198	164
新聞（t）	52	38	21	16
雑誌（t）	23	17	12	6
ダンボール（t）	9	9	11	11
古着（t）	11.0	9.4	7.1	6.0
廃乾電池（t）	1.63	1.45	1.72	1.30
廃食油（l）	420	660	705	530
粗大ごみ（t）	276	304	508	552
ペットボトル（t）	13.7	85.2	89.2	98.0
白色トレイ（t）	1.06	5.12	4.30	4.50
可燃性ごみ1人1日 当たり収集量（g）	404	420	427	506

資料：町調べ、湖東広域衛生管理組合

## ◆ともにめざす成果指標◆

指標名	現状値	目標値
生ごみ堆肥化事業会員の増加	333人	400人
公用車へのハイブリッド※車・ 電気自動車等の導入	3台	6台



## ◆主要施策◆

### (1) ごみの適正処理の推進

◇ごみの排出量の増大等に対応した適正処理が進められるよう、今後とも広域連携を図って処理施設や処分場の整備・充実に努めます。

◇ごみの不法投棄の防止を図るため、不法投棄監視員の活動強化等に努めます。

### (2) ごみの減量化、再資源化の推進

◇ごみの減量化やリサイクルに対する住民への広報・啓発活動を充実し、意識の高揚を図るとともに、廃棄物減量等推進協議会活動の充実・強化等を図り、ごみ減量運動やリサイクル運動の拡充に努めます。

◇生ごみ堆肥化事業等を通じて、家庭から出る生ごみを堆肥化し大地に還すことによってごみの減量化を図り、循環型社会の形成を促進します。

### (3) 地球温暖化防止対策の推進

◇二酸化炭素を排出する化石燃料への依存を減らすため、太陽光発電や太陽熱利用、バイオマス\*利用等自然エネルギーの活用を啓発・促進します。

◇家庭・職場でできる取組についても啓発し、住民・事業者・行政の協働によるエコライフの推進を図ります。



## ◆ともしに取組む主要事業◆

主要施策	主要事業	協働指針			
		住民 (地域・団体)	事業者※	行政	担当課
ごみの適正処理の推進	広域連携によるごみ処理施設等の整備・充実			◎	住民生活課
ごみの減量化、再資源化の推進	生ごみの堆肥化の推進	◎		○	住民生活課
地球温暖化防止対策の推進	公用車へのエコカー※の導入と啓発			◎	総務課

◎…主体 ○…協力、参加、支援

※事業者：企業、社協などのサービス事業者、NPO※などを指す



田園コスモス